

2020年度オンライン授業を振り返って

語学教育センター
副所長 大橋 稔

新型コロナウイルスに翻弄された2020年度は、オンライン授業という今までに体験したことのない授業形態に教員が翻弄された一年でもありました。それでも何とか一年間を乗り越えることをできたのは、それぞれの教員が精一杯の努力を継続していただいた結果であると衷心より御礼申し上げたいと思います。また学生からの質問対応や体制整備など、裏方仕事を丁寧に遂行し、授業運営を支えてくれた語学教育センター事務室のみなさまにも感謝申し上げます。さらに曜日担当者として、各曜日の非常勤講師のサポート業務にご尽力いただいた諸先生にも感謝申し上げます。日々変化し錯綜する情報を整理しつつ、語学教育センター全体が一丸となって取り組むことができたこの経験は、大きな財産になると信じております。

語学教育センター授業アンケートについて

後期の総括として次の通り授業アンケートを行った。

実施形態：Formsを利用

実施期間：2021年1月8日（金）～31日（日）

周知方法：授業内とWebClassにて周知

対象授業：語学教育センターが管理する全授業

※ アンケートへの回答は学生の任意とする

このアンケートに、のべ1243件の回答が寄せられた。アンケート結果の中から授業形態に関する項目（表1参照）を見ると、学生はいずれの形態の授業であっても、概ね満足感をもって受講していたことが伺える。不満を感じている学生の理由を見てみると、「対面が良かった」「オンデマンドで質問がしにくかった」など、双方向性の授業スタイルであることや、リアルタイムで教員からの反応が得られることを求める意見が見受けられた。授業の満足度を高めていくためには、学生にとって質問のしやすい環境の整備を進めていくことが必要になると思われる。

また授業への参加の積極性に関する項目の結果（表2参照）を見ると、9割以上の学生が積極的に参加したと回答している。この項目は例年より高い比率で自身の積極

性を評価している。評価の理由を見ると「課題に取り組んだ」「予習復習に取り組んだ」などとあることから、WebClassなどを用いて課題が明確に示され、授業外で課題に取り組む具体的な時間を確保したことが、学生の肯定的な評価につながったと思われる。また「休まず出席した」などの理由も挙げられていた。オンライン授業では出席する前にパソコンを立ち上げるなど、何らかのひと手間が必要となり、その行為が授業に参加しているという意識を高めることにつながったのではないかと考えられる。このことから学生の自主的な学びを促し、自身への肯定的な評価を高めるためには、明確な課題の提示や、具体的にわかりやすいハードルを課すことが必要になる。

2020年度の授業は、専任、非常勤、また教員、職員を問わず、オンラインという未経験の授業形態を成立させるため、それぞれの智慧を絞り出しながら、またそれぞれの智慧を共有しながら展開してきました。また通常の年であれば経験することができなかった、多様な授業形態に果敢に挑戦することもできました。新型コロナウイルスに翻弄される日々の出口は未だに見えていない状況にありますが、このような非常事態だからこそできることに挑戦し、語学教育センターの教育力向上のために一致団結して努力を続けていきたいと思えます。

表1-1

問1 授業の実施形態について一番近いものを選択してください。							
問2 授業の実施形態に関する満足度を選択してください。							
A 対面授業				9人			
とても満足	6人	満足	2人	不満	1人	とても不満	0人
B ハイブリット（対面授業とオンライン授業の同時進行）				44人			
とても満足	23人	満足	19人	不満	2人	とても不満	0人
C ハイブリット（対面授業とオンライン授業が週によって変わる）				9人			
とても満足	3人	満足	2人	不満	4人	とても不満	0人
D ハイブリット（対面授業と対面時の録画の配信）				0人			
とても満足	0人	満足	0人	不満	0人	とても不満	0人
E オンライン（リアルタイム型／Zoomなどの使用が中心）				936人			
とても満足	323人	満足	538人	不満	64人	とても不満	11人
F オンライン（オンデマンド型／講義動画の視聴や課題提出などが中心）				245人			
とても満足	89人	満足	131人	不満	23人	とても不満	2人

表1-2

問2 授業の実施形態に関する満足度を選択してください。							
とても満足	444人	満足	692人	不満	94人	とても不満	13人

表2

問4 あなたは授業に積極的に取り組んでいましたか。			
そう思う	614人	どちらかといえばそう思う	554人
どちらかといえばそう思わない	71人	そう思わない	4人